

公開シンポジウム

地域ケアを考える

～一人にしない～

Support in the Region ~ Never will you Leave Alone ~



開催日時

2016

4/

23

土

13:00～15:30

開催場所

沖縄国際大学
3号館304室

コーディネーター

安次富 郁 哉 (日本医療・病院管理学会評議員、沖縄国際大学教授)

シンポジスト

第一席 久根次 薫 (沖縄県社会福祉協議会地域福祉部部长)

「沖縄県社協が進める社会的孤立ゼロに向けた運動」

第二席 照屋 明子 (浦添市社会福祉協議会地域福祉推進係係長)

「人口集中地域における社会的孤立防止に向けた取り組みと課題」

第三席 岩井田 せつ子 (南大東村地域包括支援センター看護師)

「離島に社会的孤立は存在するのか」

第四席 大西 明美 (やさしい手コンサルティング事業本部部长)

「企業がつくる安心のネットワーク」

参加費無料

どなたでも参加
できます

主催：日本医療・病院管理学会

後援：沖縄県社会福祉協議会

協賛：株式会社 やさしい手

コーディネーター

公開シンポジウム「地域ケアを考える～一人にしない～」概要

安次富 郁哉 Ikuya Ashitomi

沖縄国際大学人間福祉学科教授

本シンポジウムのコンセプトは以下の通りである。

1) 社会的孤立を予防する(第一次予防 第二次予防 第三次予防)ことができるのか？
予防しなければならない！社会的孤立は「社会的疾病 (Social Disorder)」である！ならば疾病予防の視点から・・・

- ①**第一次予防**：社会的に孤立させない（生活環境の改善・ソーシャルキャピタル（特に人）などを活用し・・・）
- ②**第二次予防**：社会的孤立状況を早い時期に見つけ、それ以上悪化させない・増やさない（早期に発見・早期に対応）：なんらかのサインがある！はず
- ③**第三次予防**：社会的孤立したものを地域にもどす、もどしてあげる。

2) 社会的孤立者を地域で支える（地域ケアの重要性）にはどうすればよいのか

- ①そもそも「地域ケア」とは何か・・・
- ②地域で支え合うだけで社会的孤立は防げるのか？
- ③本人の変わろうとする気持ちが大事！個々の湧活（エンパワーメント）こそが社会的孤立ゼロに繋がるキーワード！ではないか？
- ④ならば、「エンパワーメントアプローチ」を地域の中で応用すればよい！

本シンポジウムでは、

第一席で、沖縄県社会福祉協議会から同協議会が取り組む社会的孤立ゼロに向けた運動の現状と問題点・課題について、第二席では、人口集中地域（人口約 11 万人）における社会的孤立防止に向けた取り組みと課題、第三席では、人口約 1,300 名の南大東島の社会的孤立防止活動と問題点・課題をお話いただき、第二席・三席の取り組みから「地域特性にあった社会的孤立予防のあり方」を模索する。第四席では企業の取り組みについて紹介いただき、社会的孤立予防を地域で推進する際のヒントを得ることとする。

社会的孤立ゼロを推進していく上で、本シンポジウムが大きなヒントになればという思いで開催します。是非ご参加いただき活発な討論をお願い致します。